

平成31年3月26日（火）時点

## 提 案 書（素案）

---

歴史や風土を活かす、住む人・訪れる人に笑顔があふれるまちをめざして

---

平成31年5月〇日

長浜・御畳瀬・浦戸地域活性化協議会

提案書のはじめに（案） 2019.03.25

南は太平洋，北は宇津野連山に抱かれた当地は，歴史と伝統文化に生まれ温暖且つ学問が盛んで別称「土佐の鎌倉」として栄えてまいりました。昭和 17 年，吾川郡長浜町，御畳瀬村，浦戸村から高知市に編入し，その後も高知市南部の中核地として永く発展を遂げて参りましたが，戦後，高度経済成長期を迎え，若者の県外流出，振興団地の造成が盛んになる一方，少子化・高齢化を迎えるなか，本市においても特に当地域の人口減少が甚だしく，人情溢れる昔ながらの街中は，日々活気が薄れてきております。

そうしたことから，2017 年 9 月，地域住民による「長浜・御畳瀬・浦戸地域活性化協議会」を起ち上げ，各有識者からの提言や学生達による若者目線，外部目線での意見も聞きながら，三地区の住民代表が幾度もの協議を重ね，活性化に向けた取り組みを話し合いました。

現在，高知市において検討されております「桂浜」再整備が当地にも波及効果があがるものとなるよう官民連携が必要なことはもちろん，当地での魅力ある様々な資源を発信するための取り組みについて，1 年有余にわたり，議論してまいりました。

今回，地域において振興策につながる取り組みについて，取り纏めました。「歴史や風土を活かす，住む人，訪れる人に笑顔があふれるまち」の実現に向け，官民が連携し，長浜・御畳瀬・浦戸地域に観光客も増え，賑わいと交流が生まれ，地域の活性化につながることを切に願い，ここにご提案を申し上げます。

平成 31 年 5 月 日

長浜・御畳瀬・浦戸地域活性化協議会

代 表 久武 邦雄

<各地区からの主な提案>

長浜地区の提案

長浜地区では、未だ人口流出等に対する住民の問題意識は低く、その要因として南海トラフ大震災を想定するため一定のあきらめ感が強く滲んでいます。これを打破するには防災面で国・県へ浦戸湾等の防災工事の進捗と安全対策を住民に周知して、近い将来完成すれば地震災害から当地域でも大きく被害が低減できるシミュレーションを提示して頂き、施設等ハード面の進捗と地域住民の自主防災活動も活発に推進させることで、地域の安全・安心感を早期にもたすことが必要かと思われます。併せて、この提案をご採択頂き地域の活性化に向けて住民意識の改革を図り人口流出に歯止めをかけ、地域の活性化策を推進することが肝要かと思われます。

1 地区内の一画に地域住民が集え、観光客も誘致できる拠点を整備し、賑わいと交流の場づくりを目指す。

- ① 観光バスなども駐車可能なスペースのある駐車場
- ② 地区の農水産物を活かした直販所・飲食店の設置
- ③ 子どもから高齢者まで交流できるふれあいの場所
- ④ 史跡・イベント開催の案内板設置
- ⑤ 子ども達の遊び場
- ⑥ レンタサイクル保管・管理の完備

2 桂浜観光客などを誘致し、地域の魅力を感じてもらおう取り組み。

- ① まち歩きができるウォーキング・ランニング・サイクリングのコース設営
- ② 歴史と文化を活かした地区の魅力づくりへ再整備する
- ③ 人・町が温かく、住みやすい地域づくりで長浜ファンを増やしていく
- ④ お遍路文化を大切にし、宿泊所・休憩所を整備する

3 地区住民の活性化に向けた新たなまちづくりへの挑戦

- ① 地域の安全・防災活動を推進し、安心して暮らせるまちづくり
- ② 地区の「歴史・文化・まち」を活かした新たなイベントづくり
- ③ 地区の農水産物を活かした新商品の開発
- ④ 田舎暮らしを希望する移住希望者を呼び込み、定着させる
- ⑤ 商店街の賑わいを取り戻し、若者など雇用の拡大を図る

長浜地区は、昔から若宮八幡宮・雪蹊寺等を中心に祭礼も多く伝統的に住民の相互交流は活発であります。これら提案事項を具現化させ実現を図るために、住民も意識改革を成し、事業を推進できる人材の発掘、養成に努め、各方面よりのご指導・ご支援を得ながらリーダー・住民・行政が一体となることで活性化策の実現を目指して参ります。

## 御畳瀬地区の提案

かつて日本一人口密度の高い村と云われた御畳瀬地区は、漁業を取り巻く社会的情勢の変化にともなう担い手不足や、少子高齢化によって、著しい人口減少がみられます。それに伴い、地域で行う様々な活動が困難になりつつあります。

改めて御畳瀬を振り返ると、代表的な海産物の沖うるめや、歴史の古さを語る地形や史跡、昭和の残る町並みなど、後世に残すべき景観や文化があることに気付かされます。これらの「残すべきもの」は、御畳瀬地区のみの事ではありません。現状抱える課題を一つずつ解決することにより、地域に人を呼び込み、地域の再生を計るとともに、同様の課題を抱える地域のモデルケースになる事を目指したいと思います。

### 1 地区をめぐり魅力を知ってもらう取り組み

- ① 史跡巡り等のルート開発や案内看板を設置する
- ② 他地区と連携し、サイクリングやランニングコースを設置する
- ③ ウェルカムアートとして、堤防アートを作成する

### 2 地区の特産品を活かした「食づくり」による来客を増やす

- ① 御畳瀬の魚を使い、加工品等を販売する
- ② ヒメイチや沖うるめ等を加工した寿司づくり
- ③ 伝統料理や「みませ定食」としての食づくり・干物づくり体験

### 3 賑わいと交流の拠点づくり

- ① 「みませ祭」を更に発展させて、地区内外からの集客増に繋げる。
- ② 県立大学等と連携し、歴史と文化を再興して住民の繋がりを深める。
- ③ 釣り客等へPRし、御畳瀬の自然を活かしたイベントを催す。
- ④ 空き家の活用（一時滞在者（観光客やサイクラー、お遍路さん等）の休憩スペース、住民の憩いの場お遍路宿、お接待所、学生などの下宿、移住者への賃貸）
- ⑤ 旧御畳瀬小学校の利活用（住民の憩いの場、大学のサテライトスペース、イベントスペースの貸出、事業者への貸し出し）

御畳瀬地区では、自主防災・みませ祭や天満宮神祭などの行事、県立大学との連携事業などが、ばらばらに運営されているうえに、前述のように、人口減少の為にそれらの担い手が不足しています。よって、それらを一括して全体を把握し、効率的・能率的に運営していく事が急務となっております。提案1～3を実現する為の「自治運営」「住民と行政・他地域を繋ぐ」「観光客などの交流人口、仕事や買い物で訪れる関係人口の休憩所、その場所での地域住民との交流」のための拠点を立ち上げる為に、その運用に携わる専従者への支援策と現在の御畳瀬に見合った規模でのサードプレイスの設置可能な策の協議を提案致します。

## 浦戸地区の提案

浦戸地区は高知市の南端に位置し、雄大な太平洋に面した海岸線沿いには四季折々に綺麗な花が咲き並ぶ花街道が、地区東部には県下有数の観光地である桂浜を有しています。また、浦戸湾に面する地区北部は、古くは沖合沿岸漁業の町として栄え、今も昔ながらの街並みが今も残っています。しかしながら、近年は、極集中化の社会構造の中少子高齢化社会への流れか、人情溢れる昔ながらの街から日々子供たちの笑い声が小さくなってきているように感じます。

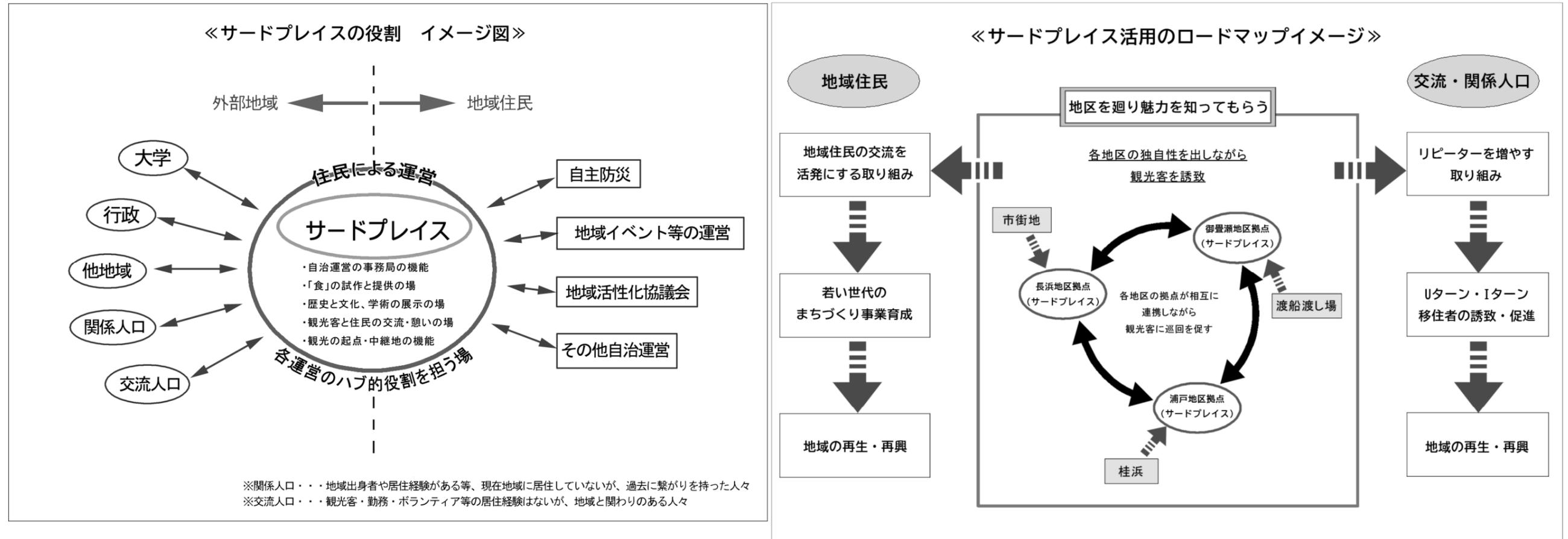
そんな中、さまざまな課題を背負い、長浜・御豊瀬・浦戸地域活性化協議会がスタートいたしました。二年間に渡り各地域から集まった委員と活性化に向けた取り組みを協議しました。また、別に各地域に部会を作りそれぞれの地域の活性化に向けた取り組みを協議しました。委員からは沢山の提案が出され、二度行われた住民アンケートからも多くの意見が出されました。それらの意見を時間をかけて調整し、浦戸地区部会としての提案書を作成しました。

提案書には、浦戸の魅力である雄大な太平洋と美しい浦戸湾に囲まれた自然、長宗我部元親の居城跡等の歴史深い環境、そして月の名所桂浜で有名な高知でも有数の観光地である桂浜公園、これらの特色を最大限活用する取組を数多く盛り込んでいます。

- ・桂浜公園から花海道をめぐるウォーキングロードの設置や史跡を散歩するコースの設定
- ・若者や観光客を集める音楽祭やフォトイベントの開催
- ・浦戸漁港に水揚げされるドロメを活用したグルメ商品の開発、そしてこれらを活かしたグルメストリートの設置
- ・移住希望者の増加につなげる空き家の利活用
- ・浦戸小学校の特認校としての特色ある学校づくり、うらど龍馬保育園との連携強化により児童数の増加を目指す取組
- ・地域交流の拠点となる施設づくりやイベントづくり（地域連携による取組）

浦戸地区部会としては、これら提案された沢山の取組を、時間をかけて企画・立案する場として、まず小規模多機能交流施設をつくりたいと考えます。そこでは、実験的に観光客へのサービスや釣り具レンタル、ウォーキングロードやサイクリングロードの拠点等の役割もしたり、地区住民が気楽に集まりまちづくりについて話し合う場だったり、色々な機能を持たせたいと考えます。また、今後浦戸地区で取り組む活性化の中心的役割を担う事務局をここに置いて、三地域の将来にわたる交流事業の立案や若い世代のまちづくり事業育成の場として活用したいと考えます。

## 各地区の拠点のイメージ



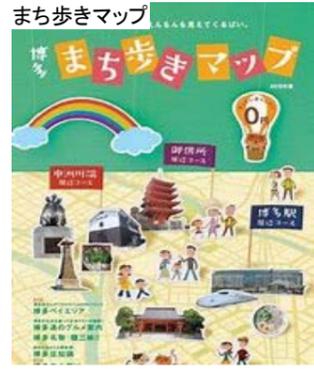
※サードプレイスとは※

家庭などのプライベートな場所（第一の場・ファーストプレイス）、職場や学校などのパブリックスペース（第二の場・セカンドプレイス）でもない、上記二つの中間的な場所。 喫茶や読書など個人的な事を楽しみながら、他の人達との交流も出来る共有スペース（第三の場・サードプレイス）。

## 各地区の総括

長浜・御畳瀬・浦戸地域においては、地域活性化を実現するために各地区の特徴を生かし、それぞれの地域の特性にあった形での拠点づくりを進めるための道筋や方向性を導いていただき、必要な財政措置をお願いします。併せて、今後地域が今以上に地域づくりに取り組むための、地域おこし協力隊や集落支援員等の人材への支援、これらの取組をわたしたち地域と協働で進めていく上での高知市としてのサポート体制づくりをお願いしたいと考えます。

■長浜・御畳瀬・浦戸地域活性化の主な取組位置図



■長浜・御畳瀬・浦戸地域活性化の取組一覧表（1）

歴史や風土を活かす、住む人・訪れる人に笑顔があふれるまち

■地区別の取組

地区別	取組案	主な内容	連携の取組
長浜	① 歴史と文化をつなぐ取組	長宗我部祭りの発展	1 連携2
		どろんこ祭りの発展	2 連携2
	② 地区を回り 魅力を知らせてもらう取組	史跡めぐり等のルートや案内板の設置	3 連携1
		まち歩きウォーク	4 連携1
		サイクリング・ランニング	5 連携1
		お遍路さん	6 連携1
		遊覧船の活用	7 連携1
	③ 地区の特産品を活かした食づくり	農水産物等を活かした食づくり	8 連携3
	④ 新たなイベントづくり	長浜の[まち・歴史]を活かしたイベント	9 連携2
	⑤ にぎわいと交流の拠点づくり	拠点を活かしたにぎわいづくり	10 連携4
	⑥ 長浜のファンを増やす取組	—	11 連携5
	⑦ にぎわいと交流の拠点づくり [再掲]	子どもの遊び場づくり	12 連携4
		高齢者の交流の場づくり	13 連携4
御畳瀬	① 歴史と文化をつなぐ取組	天満宮のお祭りと神輿の復活	1 連携2
		史跡めぐり等のルートや案内板の設置	2 連携1
	② 地区を回り 魅力を知らせてもらう取組	サイクリング・ランニング	3 連携1
		ウェルカムアート・ウェルカムボードづくり	4 連携1
		水産物を活かした食づくり	5 連携3
	④ 新たなイベントづくり	みませの[自然]を活かしたイベント	6 連携2
		みませの[まち・歴史]を活かしたイベント	7 連携2
	⑤ にぎわいと交流の拠点づくり	旧御畳瀬小学校の利活用	8 連携4
	⑥ みませ祭りを盛り上げる取組	みませ祭りの発展	9 連携2
	⑦ みませのファンを増やす取組	県立大学との連携	10 連携5
		空き家の活用	11 連携5
浦戸	① 歴史と文化をつなぐ取組	浦戸の見所めぐり	1 連携1
		サイクリング・ランニング	2 連携1
	② 地区を回り 魅力を知らせてもらう取組	ウェルカムアート・ウェルカムボードづくり	3 連携1
		農水産物等を活かした食づくり	4 連携3
	④ 新たなイベントづくり	浦戸の[自然]を活かしたイベント	5 連携2
		浦戸の[まち・歴史]を活かしたイベント	6 連携2
	⑤ にぎわいと交流の拠点づくり	拠点を活かしたにぎわいづくり	7 連携4
	⑥ 浦戸のファンをふやす取組	空き家の活用	8 連携5
	⑦ 浦戸の小学校と保育園を活かす取組	浦戸小学校の[まなび]をつなぐ	9 連携2
		浦戸地区や保・小が連携した[ひとづくり]	10 連携2

■地域全体や地区間で共通する取組 [共通の取組]

取組案	主な内容
共通1	
地域の魅力を広く伝える取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフやチラシによる情報発信 [紙媒体]</li> <li>SNSなどを活用した情報発信 [電子媒体]</li> </ul>

■地域全体や地区間で連携する取組 [連携の取組]

取組案	主な内容
連携1	
地域を回り魅力を知らせてもらう取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>史跡めぐり等のルートや案内板の設置</li> <li>まち歩きウォーク</li> <li>サイクリング・ランニング</li> <li>お遍路さん</li> <li>遊覧船の活用</li> <li>ウェルカムアート・ウェルカムボードづくり</li> <li>浦戸の見所めぐり</li> </ul>
地区それぞれの来訪客が、他の地区にも回遊する仕組みづくりを行う。	

取組案	主な内容
連携2	
地域で連携したイベントづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>長浜の[まち・歴史]を活かしたイベント</li> <li>みませの[自然]を活かしたイベント</li> <li>みませの[まち・歴史]を活かしたイベント</li> <li>浦戸の[自然]を活かしたイベント</li> <li>浦戸の[まち・歴史]を活かしたイベント</li> </ul>
地区間で連携したイベントなどを連携することで、客層の異なる来訪客の他地区への誘客を図り、滞在してもらう。	

取組案	主な内容
連携3	
地域の特産品を活かした食づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>農水産物等を活かした食づくり</li> </ul>
地区の資源等を活用した加工品を開発し、その商品を取り扱う店舗を地域全体に展開し、食べ歩きができるようにするなど、食を目的に集客を図る。	

取組案	主な内容
連携4	
地域のにぎわいと交流の拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>拠点を活かしたにぎわいづくり</li> <li>旧御畳瀬小学校の利活用</li> <li>子どもの遊び場づくり</li> <li>高齢者の交流の場づくり</li> </ul>
地域外からの集客を図り、地域のイベントや名所などの情報発信機能や交通アクセスの拠点となる機能を持たせた、多目的な拠点作りを行う。	

取組案	主な内容
連携5	
地域のファンをふやす取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立大学との連携</li> <li>空き家の活用</li> </ul>
地域外からの移住者を増やすため、地区間で空き家調査に関するノウハウを共有するとともに、滞在・関係人口を増やすことで移住人口につなげていく。	

■長浜・御畳瀬・浦戸地域活性化の取組一覧表（2）

歴史や風土を活かす、住む人・訪れる人に笑顔があふれるまち

■分野別の取組

分野別	取組案	主な内容	連携の取組		
歴史・文化	① 長浜 ○歴史と文化にふれあえるまち ○歴史と文化を未来につなぐまち	① 歴史と文化をつなぐ取組 長宗我部祭りの発展	1 連携2		
	② 御畳瀬 魅力ある歴史と漁村文化を活かしたにぎわいのあるまち	② 歴史と文化をつなぐ取組 天満宮のお祭りと神輿の復活	2 連携2 3 連携2		
	③ 浦戸 ○歴史と波の音に思いをはせるまち ○長宗我部の城下で歴史に思いをはせるまち	③ 歴史と文化をつなぐ取組 浦戸の見所めぐり	4 連携2		
産業・観光・食	① 長浜 人と触れ合いぐるっと見て回りたくなるまち	① 地区を回り魅力を知ってもらう取組 史跡めぐり等のルートや案内板の設置 まち歩きウォーク サイクリング・ランニング お遍路さん 遊覧船の活用	1 連携1 2 連携1 3 連携1 4 連携1 5 連携1		
	御畳瀬 来て楽しい食べて楽しいまち ～御畳瀬で楽しみませんか～	② 地区の特産品を活かした食づくり	② 地区の特産品を活かした食づくり	6 連携3	
		③ 新たなイベントづくり	③ 新たなイベントづくり 長浜の[まち・歴史]を活かしたイベント	7 連携2	
		④ にぎわいと交流の拠点づくり	④ にぎわいと交流の拠点づくり 拠点を活かしたにぎわいづくり	8 連携4	
		⑤ 地区を回り魅力を知ってもらう取組	⑤ 地区を回り魅力を知ってもらう取組 史跡めぐり等のルートや案内板の設置 サイクリング・ランニング ウェルカムアート・ウェルカムボードづくり	9 連携1 10 連携1 11 連携1	
			⑥ 地区の特産品を活かした食づくり	⑥ 地区の特産品を活かした食づくり	12 連携3
	浦戸 海の恵みにあふれた龍馬に会えるまち	⑦ 新たなイベントづくり	⑦ 新たなイベントづくり みませの[自然]を活かしたイベント みませの[まち・歴史]を活かしたイベント	13 連携2 14 連携2	
		⑧ にぎわいと交流の拠点づくり	⑧ にぎわいと交流の拠点づくり 旧御畳瀬小学校の利活用	15 連携4	
		⑨ みませ祭りを盛り上げる取組	⑨ みませ祭りを盛り上げる取組 みませ祭りの発展	16 連携2	
		⑩ 地区を回り魅力を知ってもらう取組	⑩ 地区を回り魅力を知ってもらう取組 浦戸の見所めぐり（再掲） サイクリング・ランニング ウェルカムアート・ウェルカムボードづくり	17 連携1 18 連携1 19 連携1	
			⑪ 地区の特産品を活かした食づくり	⑪ 地区の特産品を活かした食づくり	20 連携3
			⑫ 新たなイベントづくり	⑫ 新たなイベントづくり 浦戸の[自然]を活かしたイベント 浦戸の[まち・歴史]を活かしたイベント	21 連携2 22 連携2
	⑬ にぎわいと交流の拠点づくり	⑬ にぎわいと交流の拠点づくり 拠点を活かしたにぎわいづくり	23 連携4		
移住・福祉・教育	① 長浜 ○住みたい住み続けるまち ○子どもも老人もいきいきと暮らせるまち	① 長浜のファンを増やす取組	連携5		
	② 御畳瀬 誰もがいきいきと暮らせる心安らぐまち	② にぎわいと交流の拠点づくり[再掲]	② にぎわいと交流の拠点づくり[再掲] 子どもの遊び場づくり 高齢者の交流の場づくり	1 連携4 2 連携4	
		③ みませのファンを増やす取組	③ みませのファンを増やす取組 県立大学との連携 空き家の活用	3 連携5 4 連携5	
	浦戸 子どもの笑顔があふれるまち	④ 浦戸のファンをふやす取組	④ 浦戸のファンをふやす取組 空き家の活用	5 連携5	
		⑤ 浦戸の小学校と保育園を活かす取組	⑤ 浦戸の小学校と保育園を活かす取組 浦戸小学校の[まなび]をつなぐ 浦戸地区や保・小が連携した[ひとづくり]	6 連携2 7 連携2	

# ■長浜地区の取組一覧表

取組案	主要内容	なにを 内容・やること	なぜ 理由・目的	どのように 方法や手段	どこで 場所・会場	だれが・どこが 関係のありそうな団体など	だれに 対象者・ターゲット	いつ 実施時期・期間						
								2020	2021	2022	2023	2024		
① 歴史と文化をつなぐ取組	1 長宗我部祭りの発展	○雨戸マンガを活用した地域の歴史PR	○観光客の増加を狙うとともに、関連する地区資源への誘導を促すため	○イベント等での雨戸マンガの展示機会を増やす	○若宮八幡宮 ○秦神社 ○高知大学 ○愛宕病院分院	○南海中 ○観光振興課 ○土佐酵素 ○市長 ○長宗我部ファンクラブ ○長宗我部まつり実行委員会	○観光客(特に長宗我部ファン)							
	2 だろんこ祭りの発展	○教育機関等との連携し、授業の一環として行事参加 ○子ども ○若者向けイベントの実施	○子どもや若者の行事への参加を増やし、地域の歴史 ○文化を学んでもらうための実施	○だろんこスポーツ大会や泥みくじなどの体験型イベントを実施	○若宮八幡宮	○南海中 ○長宗我部こじやんと楽市実行委員会 ○県立大学 ○市長 ○知事 ○だろんこまつり実行委員会(神田) ○町内会連合会	○地区住民(特に子ども○若者)							
② 地区を回り魅力を知ってもらう取組	3 史跡めぐり等のルートや案内板の設置	○ルート ○マップの作成 ○案内看板の設置 ○整備	○地区資源を線でつなぎ、地区内を周遊してもらうため	○観光の起点となる場所にマップや案内板を設置 ○看板に写真 ○イラスト ○豆知識等を掲載 ○英語表記も	○長浜ふれあいセンター ○若宮八幡宮 ○花海道 ○拠点(予定)	○土佐酵素 ○渡船 ○長浜バス停(待合室)	○観光客						早急に対応	
	4 まち歩きウォーク	○ルート ○マップの作成 ○グルメマップ	○地区資源を線でつなぎ、地区内を周遊してもらうため	○小 ○中学生に地域を回ってもらい、ルート ○マップを作成する	○長浜小学校 ○南海中学校	○地域内の飲食店	○観光客							
	5 サイクリング・ランニング	○サイクリング ○ランニングコースの設定 ○駐輪所(乗り捨て場)の整備 ○メンテナンス環境の整備	○地区資源を線でつなぎ、地区内を周遊してもらうため	○実際に地域を回り、所要時間 ○安全性等を確認しながらルート ○マップを作成する ○(地元の)自転車屋との連携(自転車の確保、メンテナンス対応依頼など) ○のぼり旗	○拠点(予定) ○愛宕病院分院	○サイクリング協会 ○道路管理課(県○市) ○連携協議会(のぼり旗)	○観光客							
	6 お遍路さん	○お遍路宿(休憩所)の整備	○お遍路さんに立ち止まってもらい、お遍路道以外への観光につなげるため	○利用可能な空き家等を調査し、改修する	○雪隠寺周辺 ○渡船	○高知屋	○お遍路さん ○外国人観光客							
③ 地区の特産品を活かした食づくり	7 遊覧船の活用	○回遊ルートの構築(浦戸or御置瀬⇒長浜) ○イベント時	○海のルートを使った観光客を地区内に誘引するため	○クルーズ船の寄港に合わせて、遊覧船を出してもらう(ツアー等に盛り込んでもらう)	○高知新港 ○浦戸漁港 ○御置瀬漁港	○土佐レジン	○外国人観光客							
	8 農水産物等を活かした食づくり	○ブランド化(サツマイモ、しょうが、スイカなど) ○新商品開発 ○グルメマップ	○食を目的とした来訪客を増やすため ○「食」をつないで地域発信	○付加価値を付ける(砂地栽培、面白いネーミングなど) ○地域のイベントや大型客船寄港時に屋台等を開き販売する ○地域で人気の食をアピール、情報発信(岡村かまぼこ、ブランドケーキ(マルタ)、からあげ(居酒屋「みませ」&「とくや」の後継))	○学校 ○民間企業 ○高知新港	○企業 ○NPO ○市(広報、商品開発支援) ○酔鯨 ○岡村かまぼこ ○移動販売キッチンカー	○高知市民 ○観光客							
	9 新たなイベントづくり	○浜でのイベント開催(交流の場づくり) ○NHK大河ドラマ化(長宗我部) ○お騎初め ○浜は危ないので無理	○観光客を地区内へ呼び込むため	○ひろめ市場のようなスタイルで、飲食 ○交流ができる場所を設ける	○高知海岸 ○競馬場	○NPO ○企業	○観光客 ○高知市民							
④ にぎわいと交流の拠点づくり	10 拠点を活かしたにぎわいづくり	○直販所等の設置 ○観光バス等の誘致 ○桂浜等との周遊ルート整備 ○HP ○SNS ○観光案内	○食や観光を目的とした訪問客を増やすため	○ひろめ市場のようなテナント形式での出店募集 ○駐車場 ○トイレ等の機能整備	○拠点(予定) ○運営について専門家に話を聞きたい	○事業者 ○市(拠点整備) ○JA○土地は市が借りて、上は市が建てる	○高知市民 ○観光客	1番!						
⑤ 長浜のファンを増やす取組	11 -	○若者の事業への場所提供 ○シルバー層の移住促進(空き家バンク、お試し体験) ○遊休地農地を活用(農業)PR	○若者の事業者を誘致し、地区の活性化を図るため ○田舎暮らしを希望するシルバー層を呼び込むため	○事業に利用できる空き家の調査 ○確保 ○福祉施設、特老などの環境充実をPRする	○長浜全域 ○市営住宅(移住、お試し)	○市(移住施策) ○NPO	○移住希望者							
⑥ にぎわいと交流の拠点づくり(再掲)	12 子どもの遊び場づくり	○子どもの遊び場の確保 ○ふわふわドーム	○子どもが安心して外で遊べるようにするため	○遊具の整備や、ボール遊びができる広い空間を確保する	○公園 ○神社 ○畑	○子ども会 ○青少協 ○JA(家庭菜園) ○拠点 ○長浜公園とのつながり	○地区の子ども							
	13 高齢者の交流の場づくり	○高齢者が集える場所づくり ○単身高齢者の生活支援 ○スポーツ(卓球ほか)による交流	○高齢者の居場所や役割を作るため	○いきいき百歳体操の実施 ○コミュニティカフェの開催	○福祉施設 ○特養(「もどちか」7F…地域交流スペースとして地元開放) ○ふれあいセンター ○地区公民館 ○市民会館 ○スーパー	○町内会 ○社会福祉協議会 ○拠点の一角	○地区の高齢者							

## ■御畳瀬地区の取組一覧表

取組案	主な内容	なにを 内容・やること	なぜ 理由・目的	どのように 方法や手段	どこで 場所・会場	だれが・どこが 関係のありそうな団体など	だれに 対象者・ターゲット	いつ 実施時期・期間				
								2020	2021	2022	2023	2024
① 歴史と文化をつなぐ取組	1 天満宮のお祭り と神輿の復活	○神輿の復活	○神輿を通じて、地域内の団結や、普段外に出てこない住民の参加を促すため	○県立大学の学生に神輿の担ぎ手として参加してもらう	○天満宮	○総代会 ○県立大学 ○看護学校(精華園) ○長浜 ○浦戸地区(昔はあった)	○地区住民					
	② 地区を回り 魅力を知ってもらう 取組	2 史跡めぐり等の ルートや案内板の 設置	○ルート○マップの作成 ○案内看板の設置○整備 ○旧遍路道	○地区資源を線でつなぎ、地区内を周遊してもらうため	○観光の起点となる場所にマップや案内板を設置	○御畳瀬ふれあいセンター ○拠点(予定) ○船着場 ○別荘地	○地区住民	○観光客 ○遍路客				
3 サイクリング・ ランニング		○サイクリング○ランニング コースの設定 ○駐輪所(乗り捨て場)の整備	○地区資源を線でつなぎ、地区内を周遊してもらうため	○実際に地域を回り、所要時間 安全性等を確認しながらルート ○マップを作成する ○(地元の)自転車屋との連携(自転車の確保、メンテナンス対応依頼など)	○拠点(予定) ○古民家カフェ		○観光客					
4 ウェルカムアート・ ウェルカムボード づくり		○ようこそ看板の設置 ○堤防アート ○旧人口密度世界一のまちづくり	○御畳瀬を訪れる人を歓迎するとともに、また来たいと思わせ、継続的な訪問につなげるため	○地域の子どもたちにイラストをデザインしてもらう	○長浜～御畳瀬の地区境界 ○渡船場近辺 ○貸船屋	○地区住民 ○専門家	○観光客					
③ 地区の特産品を活かした食づくり	5 水産物を 活かした食づくり	○御畳瀬の魚を使った加工品の提供 ○御畳瀬箱 ○ヒメイチ(寿司)	○食を目的とした来訪客を増やすため	○地域のイベントや大型客船寄港時に屋台等を開く ○沖ウルメの寿司	○御畳瀬漁港 ○高知新港	○漁港 ○県立大学	○観光客					
	④ 新たな イベントづくり	6 みませの 「自然」を 活かしたイベント	○釣り船 ○レジャー ○カフェ(みませ定食) ○伝統料理	○漁村として発展した地区の魅力を感じてもらい、継続的な訪問につなげるため	○地元漁師(漁港)に協力してもらい、釣り目的の訪問客に船釣りの機会を提供する	○御畳瀬漁港 ○ひもののやまさき	○地区住民(学生、子ども)	○観光客				
7 みませの 「まち・歴史」を 活かしたイベント		○スタンプラリー ○写真○インスタ映え	○地区の魅力(再)発見してもらい、継続的な訪問へつなげるため	○観光スポットにスタンプを設置し、周遊する仕組みを作る(スタンプを集めると地区の特産品をプレゼントするなど併せて行う)	○長浜南部全域(地区単独は困難)		○観光客					
⑤ にぎわいと交流の 拠点づくり	8 旧御畳瀬小学校の 利活用	○地域活動の拠点として利用 ○住民交流イベントの開催	○住民が気軽に利用できる憩いの場を設けることで、住民の交流を促すため	○コミュニティカフェのような憩いの場を設置 ○子どもが遊べる遊具の設置 ○ゲートボール、健康マージャンなどの開催 ○グラウンドの草刈り ○グラウンドでウォーキング(雑草対策)	○旧御畳瀬小学校(一部利用)	○地区住民	○地区住民					
		○民間企業等への貸出	○地域住民のみでの活用が困難なため、民間企業等に活用してもらい、地域のにぎわいづくりに貢献してもらうため	○地元の要望を確認したうえで、公募を行う	○旧御畳瀬小学校(一部を除く利用)	○地区住民 ○企業	○民間企業等					
⑥ みませ祭りを 盛り上げる取組	9 みませ祭りの発展	○ゲストの招致 ○干物づくり体験	○地区外の集客だけでなく、地区内の集客(参加)を増やすため	○よさこいチームなどを招致し、お祭りで踊ってもらう ○来客数のカウント	○御畳瀬漁港 ○旧御畳瀬小学校 ○精華園	○地区住民 ○精華園 ○行政	○高知市民 ○地区住民					
		⑦ みませのファンを 増やす取組	10 県立大学との連携	○地域活動への参加	○地域学実習等を通じ、地域のことを知ってもらい、継続的に地域との関りを持ってもらうため	○みませ祭や天満宮のお祭り(神輿)等への参加	○御畳瀬全域	○県立大学	○県立大学生			
11 空き家の活用	○お遍路宿の整備 ○下宿施設の整備		○地区内に滞在する人を増やし、地区の魅力を知ってもらうことで、将来的な移住へつなげるため	○利用可能な空き家を調査 ○確保し、整備を行う	○御畳瀬全域	○地区住民 ○行政	○遍路客 ○県立大学生					

# 浦戸地区の取組一覧表

取組案	主要内容	なにを 内容・やること	なぜ 理由・目的	どのように 方法や手段	どこで 場所・会場	だれが・どこが 関係のありそうな団体など	だれに 対象者・ターゲット	いつ 実施時期・期間				
								2020	2021	2022	2023	2024
① 歴史と文化をつなぐ取組	1 浦戸の見所めぐり	○ルート ○マップの作成 ○ウォーキングコースの設定 ○案内看板の設置 ○整備 ○飲食や休憩ができる場所の整備	○地区資源を線でつなぎ、地区内を周遊してもらうため	○観光の起点となる場所にマップや案内板を設置 ○公民館を改修する(2Fにカフェ) ○移動販売形式(屋台、移動販売車など)で飲食を提供する ○トクトクなどの移動手段の整備 ○避難路も兼ねたマップ、コース設定 ○海めぐりコース、城下町めぐりコースなどを設定 ○長宗我部ウォーキングコースなど浦戸～長浜をつなぐ ○週末にオープン(拠点) ○ナイトバザール ○コインシャワーの設置	○浦戸ふれあいセンター ○花海道 ○桂浜 ○アスレチック広場 ○港(旧漁協) ○旧道(歴史) ○小学校(駐車場として)	○行政(避難路整備) ○連携協議会	○観光客					
	2 地区を回り魅力を知ってもらう取組	サイクリング・ランニング	○サイクリング ○ランニングコースの設定 ○駐輪所(乗り捨て場)の整備 ○遊歩道の整備	○地区資源を線でつなぎ、地区内を周遊してもらうため	○実際に地域を回り、所要時間 ○安全性等を確認しながらルート ○マップを作成する ○(地元)の自転車屋との連携(自転車の確保、メンテナンス対応依頼など)	○拠点(桂浜) ○花海道、松林 ○海岸沿い ○自転車置き場(南浦)	○サイクリング協会 ○専門業者 ○桂浜ボランティア協会 ○行政(遊歩道整備)	○観光客				
② 地区の特産品を活かした食づくり	3 ウェルカムアート・ウェルカムボードづくり	○堤防アート ○空き家をペイント ○トンネルアート	○桂浜への訪問客を地区内にも誘客するため	○地域の子どもたち、またはアーティストにイラストを描いてもらう	○堤防(桂浜⇄浦戸間) ○三差路(クリスマスツリー) ○ふれあいセンター隣はなれ	○小学校の生徒 ○学校の美術部 ○専門家	○観光客					
	4 農水産物等を活かした食づくり	農水産物等を活かした食づくり	○食を目的とした来訪客を増やすため	○地域のイベントや大型客船寄港時に屋台等を開く	○花海道 ○高知新港	○企業(浜幸、スジャータ)	○観光客					
③ 新たなイベントづくり	5 浦戸の「自然」を活かしたイベント	○釣り体験 ○飲食の提供 ○釣り大会	○魚釣りの趣味を持つ層を呼び込み、継続的な訪問へつなげるため	○釣具のレンタルショップを開く ○釣った魚をその場で食べられる場所(食堂など)を作る ○釣った魚を保育園、水族館に	○浦戸漁港	○公民館 ○旅行代理店 ○地域住民	○観光客 ○移住希望者					
	6 浦戸の「まち・歴史」を活かしたイベント	○フォトイベント ○スタンプラリー等の開催 ○チェーンソーアートの作品展示	○地区の魅力(再)発見してもらい、継続的な訪問へつなげるため	○室蘭FESのような滞在型フォトコンテストを開催する ○観光スポットにスタンプを設置し、周遊する仕組みを作る(スタンプを集めると地区の特産品をプレゼントするなど併せて行う)	○浦戸全域 ○桂浜(龍馬記念館、浦戸城跡など)	○民宿 ○写真館	○観光客					
④ にぎわいと交流の拠点づくり	7 拠点を活かしたにぎわいづくり	○若者が集う施設づくり ○音楽	○地区内外の若者が集まり、交流できる場所をつくることで、地区のにぎわいを生むため	○ライブハウス ○屋外ステージなどの施設づくり ○食や遊びをテーマにしたSHOPを開く ○全てを行うのに浦戸に拠点が必要 ○事務局機能(花海道出店調整含む)	○拠点(新規) ※長浜と違う小規模の地域交流拠点(物販、釣具レンタル、コインシャワー、出店調整、ライブハウス、企画、事務局)	○行政(交流拠点整備) ○コミュニティ楽団(音楽) ○市民会議、連携協議会	○観光客(主に若者)					
	8 浦戸のファンをふやす取組	空き家の活用	○観光客がくつろげる場をつくり、滞在時間を増やすことで、地区の魅力を知ってもらうため	○利用可能な空き家等を調査し、改修する	○拠点(予定)		○観光客					
⑤ 浦戸の小学校と保育園を活かす取組	9 浦戸小学校の「まなび」をつなぐ	○特認校としての特色を出す	○特認校の強みを生かした浦戸ならではの「まなび」の場を作り、児童増加を目指すため	○プログラミングや海の自然体験を活かした学習の実施 ○継続	○浦戸小学校	○地域コーディネーター ○地域住民 ○高知商業	○高知市民					
	10 浦戸地区や保・小が連携した「ひとづくり」	保小の連携強化	○地区と保育園 ○小学校等が横のつながりを持ち、地区が一体となった教育環境をつくるため	○地区と保育園 ○小学校等との交流の機会を増やす	○浦戸保育園 ○浦戸小学校	○応援隊(地域住民○学校委嘱) ○行政(補助金支援)	○地区住民					

## ■ 地域全体や地区間で共通する取組一覧表 [共通の取組]

取組案	主要内容	なにを 内容・やること	なぜ 理由・目的	どのように 方法や手段	どこで 場所・会場	だれが・どこが 関係のありそうな団体など	だれに 対象者・ターゲット	いつ 実施時期・期間						
								2020	2021	2022	2023	2024		
① 地域の魅力を 広く伝える取組	1 パンフやチラシによる 情報発信[紙媒体]	○観光マップ、イベントカレン ダー等の作成 ○電子媒体への誘導	○電子媒体での情報収集が 困難な層に向けて情報発信 をするため ○長浜南部以外を目的に 来高している観光客の関心 を誘い、誘客につなげるため	○観光の起点となる場所 やイベントでの配布 ○HPアドレスやQRコード を掲載	○高知駅 ○高知空港 ○高知新港 ○各イベント会場		○観光客							
	2 SNSなどを活用した 情報発信[電子媒体]	○HPやSNS等による地域 情報の発信	○電子媒体での情報収集を 得意とする若者層○外国 人観光客に向けて情報発信 するため	○イベントカレンダーや地 域イベント情報を発信 ○「#土佐の鎌倉」のような 共通したハッシュタグを用 いて、住民全員での情報 発信			○観光客							

## ■ 地域全体や地区間で連携する取組一覧表 [連携する取組]

取組案	主要内容	なにを 内容・やること	なぜ 理由・目的	どのように 方法や手段	どこで 場所・会場	だれが・どこが 関係のありそうな団体など	だれに 対象者・ターゲット	いつ 実施時期・期間						
								2020	2021	2022	2023	2024		
① <b>連携1</b> 地域を回り 魅力を知ってもらう 取組	1 地区それぞれの来訪客が、 他の地区にも回遊する仕組 みづくりを行う。	○ルート ○マップ作成(サイクリング、 ウォーキングなど) ○回遊手段の確保	○それぞれの地区の来訪客 を他地区へも誘導するため	○観光の起点となる場所 にマップや案内板を設置 ○交通手段の整備(サイクル、 観光バス、シャトルバスなど)	○長浜南部全域		○観光客							
② <b>連携2</b> 地域で連携した イベントづくり	2 地区間で連携したイベント などを連携することで、客 層の異なる来訪客の他地 区への誘客を図り、滞在し てもらう。	○各地区のイベントを同日 に実施する合同イベントを 開催する	○それぞれの地区の来訪客 を他地区へも誘導し、地区 ごとの魅力を知ってもらう とともに、滞在時間の増加 を目指すため	○既存イベントの日程調整 ○交通手段の整備(サイクル、 観光バス、シャトルバスなど)	○各イベント会場		○観光客							
③ <b>連携3</b> 地域の特産品を 活かした食づくり	3 地区の資源等を活用した加 工品を開発し、その商品を取 り扱う店舗を地域全体に展 開し、食べ歩きができるよ うにするなど、食を目的に 集客を図る。	○新商品の開発 ○直販所等の整備 ○飲食の提供場所の整備	○食を目的とした来訪客を増 やし、地域への集客○各地 区への回遊を促すため	○空き家を店舗へ改修し、 事業者を呼び込む ○観光の起点や周遊ルート 上で屋台を開く	○長浜南部全域 ○花海道 ○高知新港		○観光客 ○高知市民							
④ <b>連携4</b> 地域の にぎわいと交流の 拠点づくり	4 地域外からの集客を図り、 地域のイベントや名所などの 情報発信機能や交通アクセ スの拠点となる機能を持た せた、多目的な拠点作りを 行う。	○拠点を目的 ○起点(中継点)とした周遊 の仕組みづくり	○拠点への集客を図るととも に、他地区へのアクセスの 起点としての役割も持たせ ることで、地域内の回遊を 促すため	○交通手段の整備(サイクル、 観光バス、シャトルバスなど)	○長浜 ○御畳瀬 ○浦戸の各地区		○観光客							
⑤ <b>連携5</b> 地域のファンを ふやす取組	5 地域外からの移住者を増やす ため、地区間で空き家調査に 関するノウハウを共有する とともに、滞在○関係人口 を増やすことで移住人口に つなげていく。	○空き家情報の収集 ○発信	○移住希望者の増加を図 るため	○収集した空き家情報をHP 等で発信する	○長浜南部全域		○移住希望者							

## ■これまでの協議経過

### 平成29年度

開催日	会議名など	主な協議内容
平成29年9月4日	第1回 総会	・会則の承認について ・専門部会の設置について ・役員を選出について ・今後のスケジュールについて
平成29年9月26日	第1回 役員会	・今後の進め方について ・協議会の広報について ・案内等の発送、資料確認 ・会議の進行について
平成29年10月17日	第1回 地区部会：長浜	・長浜地区部会会長等の選任 ・今後の地域の活性化に向けた意見交換
平成29年11月2日	第1回 地区部会：御畳瀬	・御畳瀬地区部会会長等の選任 ・今後の地域の活性化に向けた意見交換
平成29年11月17日	第2回 役員会	・総会について ・協議会の進め方について ・報告事項
平成29年11月22日	第2回 総会	・役員会・地区部会の報告 ・会則の改正について ・高知市の観光振興について ・都市計画マスタープランについて
平成29年11月29日	第1回 地区部会：浦戸	・総会、各地区部会について ・浦戸地区部会会長等の選任 ・アットについて ・かわら版の発行について
平成29年12月8日～25日	住民アンケート（浦戸）	・浦戸地区の活性化について（地区の現状・課題の把握）
平成29年12月12日	第3回 役員会	・県立大学との連携について ・浦戸地区部会について ・黒笹氏の地域事前視察及び打合せについて
平成30年1月13日	第2回 地区部会：御畳瀬	・平成29年活動報告 ・平成30年活動計画予定案
平成30年1月16日	第2回 地区部会：浦戸	・住民アットの結果について（報告） ・グループワーク①・② ・メディア対応について
平成30年1月18日	第4回 役員会	・浦戸地区部会について ・県立大学との連携について ・黒笹氏の地域事前視察及び打合せについて
平成30年1月26日	第3回 総会	・公有財産の活用について ・移住定住の取組概要について ・浦戸地区部会の報告 ・役員会の報告
平成30年2月9日	第5回 役員会	・県立大学との連携について ・黒笹氏の地域事前視察について ・今後の進め方について
平成30年2月15,16日	3地区現地学習会	・黒笹氏の講演会に向けた地域事前視察（まちあるき・観光遊覧船・学習会）
平成30年3月14日	第6回 役員会	・県立大学との連携について ・今年度の活動内容のまとめについて ・来年度の進め方について
平成30年3月23日	第4回 総会	・高知県内の活性化事例について ・役員会の報告

### 平成30年度

開催日	会議名など	主な協議内容
平成30年4月27日	第1回 役員会	・今後の地区部会の進め方について 他
平成30年5月24日	第1回 地区部会：長浜	・昨年度の振り返り ・今年度の検討の進め方 ・グループワーク
平成30年5月26日	第1回 地区部会：御畳瀬	・昨年度の振り返り ・今年度の検討の進め方 ・グループワーク
平成30年5月29日	第1回 地区部会：浦戸	・昨年度の振り返り ・今年度の検討の進め方 ・グループワーク
平成30年6月3日	講演会（黒笹慈幾氏）	・地域の魅力を活かすための方策について
平成30年6月7日	第2回 役員会	・黒笹氏講演会の振り返り 他
平成30年6月23日	第2回 地区部会：御畳瀬	・黒笹氏の講演会について（概要報告） ・前回の地区部会の振り返り ・グループワーク
平成30年6月25日	第2回 地区部会：長浜	・黒笹氏の講演会について（概要報告） ・前回の地区部会の振り返り ・グループワーク
平成30年6月26日	第2回 地区部会：浦戸	・黒笹氏の講演会について（概要報告） ・前回の地区部会の振り返り ・グループワーク
平成30年7月2日	第3回 役員会	・黒笹氏の講演会について（概要報告） ・高知県立大学との連携事業について 他
平成30年7月11日	第1回 総会	・委員の交代等について ・県立大学との連携について ・地区部会の取組について ・今後の進め方について
平成30年7月14日	第3回 地区部会：御畳瀬	・県立大学との連携事業について ・基本目標と具体的な活性化策について
平成30年7月23日	第3回 地区部会：浦戸	・基本目標と具体的な活性化策について ・県立大学の地域学実習の受け入れについて
平成30年7月27日	第3回 地区部会：長浜	・具体的な活性化策について
平成30年8月18日	第4回 地区部会：御畳瀬	・各地区での連携が可能と思われるアイデアについて ・具体的な活性化策について
平成30年8月19,20,21日	地域学実習Ⅰ：浦戸	・浦戸地区の交流人口拡大に向けた「まちあるきJ-」とその拠点づくり
平成30年8月24,25,26日	地域学実習Ⅰ：長浜	・どろんこ祭りを誇りとした地域づくりと交流人口の拡大
平成30年8月28日	第4回 地区部会：浦戸	・具体的な活性化策について（県立大学の地域学実習を受けて）
平成30年9月9,15,16日	地域学実習Ⅰ：御畳瀬	・地域に住む女性らが活躍できる地域活性化策
平成30年9月19日	第4回 地区部会：長浜	・県立大学の地域学実習について（情報共有） ・活性化策のアイデアの整理
平成30年9月20日	第4回 役員会	・各地区部会について ・県立大学との連携事業について ・先進地視察について
平成30年10月6日	第5回 地区部会：御畳瀬	・協議会総会の役員・会員について ・県立大学の地域学実習について ・地区の将来像・基本目標について
平成30年10月9日	第5回 地区部会：浦戸	・活性化策のアイデアの整理 ・浦戸地区の将来像・基本目標について
平成30年10月10日	第5回 地区部会：長浜	・長浜地区の将来像・基本目標について ・活性化策のアイデアの整理
平成30年10月17日	第2回 総会	・役員を選出等について ・地区部会の取組について ・将来像・基本目標について ・地区連携の取組について
平成30年11月9日	第5回 役員会	・住民アットの実施について
平成30年11月13日	第6回 地区部会：浦戸	・住民アットについて ・活性化策の具体的な検討
平成30年11月15日	第6回 地区部会：長浜	・住民アットについて ・活性化策の具体的な検討
平成30年11月22日	第6回 地区部会：御畳瀬	・住民アットについて ・活性化策の具体的な検討 ・看板の事例紹介
平成30年12月5日	第3回 総会	・住民アットについて ・地区部会の取組について ・地区で連携して進める取組について
平成31年1月15日	第7回 地区部会：浦戸	・活性化策の具体化
平成31年1月15日～29日	住民アンケート（全地区）	・長浜・御畳瀬・浦戸地域の活性化について（体系案の確認、取組分野の意向調査）
平成31年1月17日	第7回 地区部会：長浜	・活性化策の具体化
平成31年1月18日	第7回 地区部会：御畳瀬	・活性化策の具体化
平成31年1月30日	第6回 役員会	・住民アットについて ・提案書の構成について ・今後のスケジュールについて
平成31年3月17日	座談会	・専門家による活性化策への助言（プロから学ぶ地域おこし座談会）
平成31年3月19日	第7回 役員会	・提案書案の確認 ・今後の進め方等について
平成31年3月26日	第4回 総会	・提案書案の確認 ・今後の進め方等について

### 平成31年度

開催日	会議名など	主な協議内容
平成31年4月 日	第1回 役員会	・提案書の編纂 ・今後の進め方等について
平成31年4月 日	第2回 役員会	・提案書の編纂 ・今後の進め方等について
平成31年5月 日	市長への提案	・提案書手交式

総会



地区部会：長浜



県立大地域学実習：長浜



地区部会：御畳瀬



県立大地域学実習：御畳瀬



地区部会：浦戸



県立大地域学実習：浦戸



黒笹慈幾氏現地学習会・講演会



## ■長浜・御畳瀬・浦戸地域活性化協議会 会則

### 長浜・御畳瀬・浦戸地域活性化協議会 会則

#### (目的)

第1条 人口減少への対応と地域振興による地方創生に向けたまちづくりを、市民と行政の協働により進めるために、市民発意による地域の振興策を協議、検討し、地域振興計画を策定する高知市に対し提案すること（以下「提案」という。）を目的とする。

#### (名称等)

第2条 この会は、「長浜・御畳瀬・浦戸地域活性化協議会（以下「協議会」という。）」と称する。  
2 協議会における、活動対象の範囲は、長浜（横浜、瀬戸、横浜新町、長浜蒔絵台を除く）、御畳瀬及び浦戸（以下「対象地域」という。）とする。

#### (取組)

第3条 協議会は、第1条の目的を達成するために、次に掲げる取組を行う。  
(1) 提案についての協議、検討に関する事  
(2) その他、対象地域の人口減少への対応、地域振興等に関する協議、検討に関する事

#### (組織)

第4条 協議会は、第1条の目的に賛同する次の各号に掲げる者（以下「会員」という。）をもって組織する。  
(1) 対象地域において活動する団体、若しくは事務所等を置く法人の代表者等であり、長浜・御畳瀬連携協議会及び浦戸まちづくり連携協議会等から推薦された者  
(2) 前号に掲げる者のほか、この協議会の目的に賛同し協議会が加入を認める者  
2 会員が協議会へ加入及び退会する場合は、別記様式により届け出るものとする。

#### (役員)

第5条 協議会には、次の役員を置く。  
(1) 代表 1名  
(2) 副代表 2名  
(3) 幹事 3名以内  
2 代表、副代表及び幹事は、総会において会員の互選により選出する。  
3 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。  
4 役員が交代した場合には、前項の規定にかかわらず、後任者の任期は前任者の残任期間とする。

#### (役員職務)

第6条 前条の役員職務は、次のとおりとする。  
(1) 代表は、協議会を代表し、会務を総括管理する。  
(2) 副代表は、代表を補佐し、代表に事故あるとき又は代表が欠けたときは、その職務を代行する。  
(3) 幹事は、事務局と連携し、協議会の運営に必要な資料の確認等を行う。

#### (会議)

第7条 協議会の会議は、総会及び役員会とし、代表が召集し議長を任命する。  
2 協議会の運営にあたっては、第1条の目的達成のために、会員同士が相互に連携協力し、少数意見も尊重しつつ、その運営に努めなければならない。

#### (総会)

第8条 総会は、第4条第1項の会員をもって組織する。  
2 総会は、年に複数回開催し、次に掲げる事項を協議、決定する。  
(1) 協議会の運営に関する事

- (2) 提案の協議、検討及び承認に関する事
  - (3) 役員選出に関する事
  - (4) 会則承認又は改正に関する事
  - (5) 専門部会の設置及び報告の取りまとめに関する事
  - (6) その他協議会の運営に関し重要と認められる事項
- 3 本条第2項の各号に掲げる事項を決定する総会は、会員の過半数の出席を成立要件とする。

#### (役員会)

第9条 役員会は、第5条第1項の役員をもって組織する。  
2 役員会は、必要に応じ開催し、次の事項を協議、決定する。  
(1) 総会の開催に関する事  
(2) 総会に付議する事項に関する事  
(3) 協議会の活動状況等の広報に関する事  
(4) その他協議会の運営に関する事項

#### (専門部会)

第10条 協議会に、総会で委任された専門的な内容を協議するため、対象地域等に応じて専門部会を置くことができる。  
2 専門部会には、部会長及び副部会長を置き、会員の互選により選出する。  
3 専門部会は必要に応じ部会長が招集し、部会長が会の進行を務める。ただし、部会長に事故あるとき又は部会長が欠けたときは、副部会長がその職務を代行する。  
4 専門部会は、協議の状況を直近の総会又は役員会に報告しなければならない。

#### (事務局)

第11条 協議会の事務局を、高知市総務部市長公室政策企画課に置き、次に掲げる事務を担当する。  
(1) 総会及び役員会の運営に必要な資料及び協議記録等の作成に関する事務  
(2) 総会及び役員会で決定された事項に関する必要書類等の作成に関する事務  
(3) 協議会の活動状況等の広報に関する事務  
(4) その他協議会の運営に関する事務

#### (資料提供その他の協力等)

第12条 協議会は、第1条に掲げる目的を達成するため必要があると認めるときは、会員以外の者に対し、資料の提出、意見の表明、説明その他必要な協力を求めることができる。

#### (その他)

第13条 この会則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、役員会で協議し、代表が定める。

#### 附 則

##### (施行期日)

- 1 この会則は、平成29年9月4日から施行する。  
(加入の届出に関する特例)
- 2 この会則の施行の日に協議会の会員である者は、この会則の規定に基づき届出を行ったものとみなす。

■長浜・御畳瀬・浦戸地域活性化協議会 名簿

地区	No.	氏名	役職等	分類
長浜	1	澤部 誓一	NSKGROUP(株)代表取締役会長	
	2	武田 誠雄	長浜地区人権啓発推進委員会副委員長	
	3	小中 盛	日出野公民館館長 日出野自主防災会会長	
	4	岡本 國男	築山町内会公民館会長 築山西地区防災会会長	
	5	上杉 幸義	向山団地町内会会長 長浜・御畳瀬連携協議会活性化部会長	
	6	若枝 秀実	長浜消防分団分団長	
	7	永吉 誠志	東塩谷公民館館長 長浜社会福祉協議会副会長	
	8	森田 浩明	J A 高知市長浜支所運営委員長 高知市農地利用最適化推進委員	
	9	長崎 敏明	(有)長崎電機 代表取締役	
	10	森本 征彦	横田野地区自主防災委員会委員長 横田野町内会副会長	
	11	隅田 哲正	高知市立南海中学校教頭	
	12	久武 邦雄	長浜・御畳瀬連携協議会会長 長浜地区町内会公民館連合会会長	代表
	13	大久保 千堯	長浜まちづくり推進市民会議代表	幹事
	14	中村 美津子	長浜小学校区青少年育成協議会会長・事務局 長浜・御畳瀬連携協議会副会長	
	15	濱田 哲雄	長浜・御畳瀬連携協議会会計 長浜まちづくり推進市民会議事務局長	
	16	内田 俊彦	長浜・御畳瀬連携協議会事務局長 長浜防災連合会事務局長	幹事
御畳瀬	17	久武 雄一	高知県漁業協同組合御畳瀬支所（支所長代理）	
	18	新川 泰造	御畳瀬消防分団分団長	副代表
	19	澤田 美須珠	みませ祭代表 御畳瀬民生委員児童委員協議会会長	
	20	山下 幹夫	御畳瀬地区自主防災会代表	
	21	久保 喜三郎	御畳瀬町内会副会長 御畳瀬地区民生委員児童委員	
浦戸	22	久武 洋一	浦戸地区津波防災検討会会長	
	23	徳廣 賢一	浦戸まちづくり連携協議会会長 浦戸ふれあいセンター運営委員会会長	副代表
	24	楠瀬 静江	浦戸民生委員児童委員協議会会長	
	25	山崎 裕正	浦戸地区コミュニティ計画推進市民会議代表	
	26	中田 雅彦	浦戸消防分団分団長	
	27	島村 安信	浦戸地区社会福祉協議会会長	
	28	北岡 和穂	浦戸小学校区青少年育成協議会会長	
	29	高田谷 滋	浦戸校区交通安全会議会長 浦戸連合町内会会長	幹事